

2011年度秋季企画展

初公開

大谷大学博物館所蔵の

古瓦

— 関連寺院の資料と共に —

実習生展同時開催

9月6日 火 → 9月24日 土

開館時間=10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日=日・月曜日

観覧料=一般・大学生…200円 小中高生…無料

(本学同窓生・70歳以上の方・障がい者とその介護者一名は無料)

後援=エフエム京都

〒603-8143 京都市北区小山上総町

TEL. 075-411-8483 FAX. 075-411-8146

http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

大谷大学博物館
Otani University Museum



地下鉄烏丸線「北大路駅」すぐ!

初公開

大谷大学博物館所蔵の

古瓦

— 関連寺院の資料と共に —

本館では例年、秋季企画展で、仏教文化財を中心とする館蔵の代表的な作品を、順次公開しています。

今回はその中から、本館の所蔵品として、あまり知られていない古瓦のコレクションを取り上げました。

古瓦は、瓦当文様などの研究により編年され、時代のわからない官衙や寺院など建造物の遺構や、その遺跡の年代を推定する重要な基準となっています。また、軒丸瓦の蓮華文や軒平瓦の忍冬唐草文などに代表されるように、その文様も造形として興味深いものがあります。

展示では、朝鮮半島の三国時代から高麗時代にかけての古瓦と、日本古代の白鳳時代から平安時代にかけての古瓦を、関連資料とともに紹介しています。

また、大谷大学博物館学課程実習生による実習生展も同時に開催します。これまでの学習の成果を踏まえ、それぞれ異なる視点で企画した「清凉寺釈迦像—天竺から日本へ—」「境界を護る—辟邪の象徴—」「一休の生涯と伝承」の三つの展示をおこないます。



慶州奉徳寺鐘 拓本



東大寺扁額



国分寺文字瓦

◆実習生展

A班：一休の生涯と伝承

B班：清凉寺釈迦堂—天竺から日本へ—

C班：境界を護る—辟邪の象徴—

次回予告

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念

特別展 親鸞 — 真宗本廟の歴史 —

10月11日(火)～11月28日(月)

